



南越駅(仮称)周辺の現状について

平成31年1月30日





福井県越前市

武生市と今立町が合併して
平成17年10月1日に誕生

面積: 230.70km²

人口: 83,153人(平成31年1月1日現在)



出典: 国土地理院

伝統産業

越前和紙
越前打刃物
越前筆筒



先端産業

機械工業
電子部品



平成29年工業統計調査
製造品出荷額等
福井県第一位(26.2%)

観光



たけふ菊人形

資料作成: 越前市都市計画課



歴史



越前国府
紫式部が住んだことがある
日本の紙幣を漉っていた
秋山徳蔵さんが生まれた
いわさきちひろさんが生まれた
かこさとしさんが生まれた
俵万智さんが住んでいた
コウノトリが住んでる

3大グルメ



越前おろしそば



ボルガライス



武生駅前中華そば

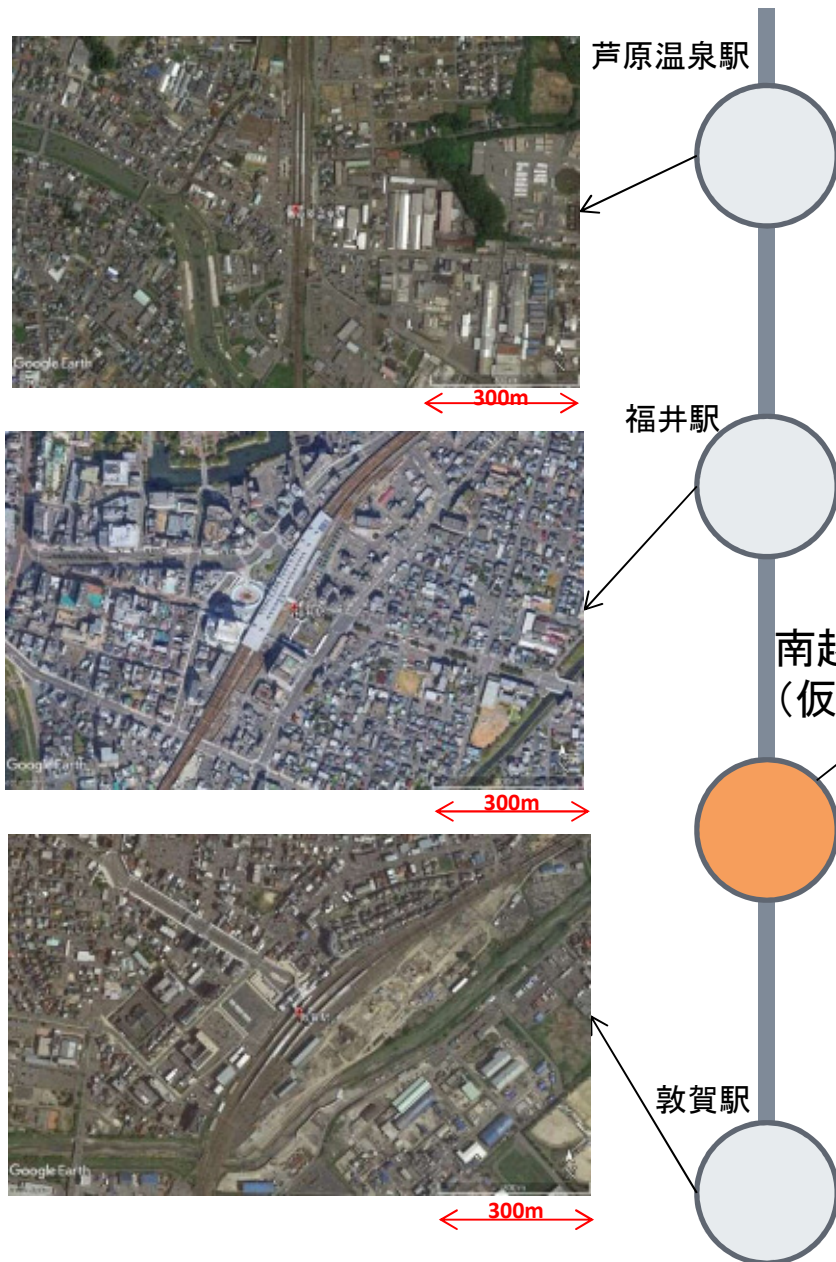
越前市の位置・人口



市町	人口	丹南地域	嶺北	福井県
越前市	81,524	184,783	646,813	786,740
鯖江市	68,284			
池田町	2,638			
南越前町	10,799			
越前町	21,538			
福井市	265,904			
大野市	33,109			
勝山市	24,125			
あわら市	28,729			
坂井市	90,280			
永平寺町	19,883			
敦賀市	66,165			
小浜市	29,670			
美浜町	9,914			
高浜町	10,596			
おおい町	8,325			
若狭町	15,257			
			平成27年 国勢調査	

画像提供: 福井県 (<https://fukui2018.pref.fukui.lg.jp>)
 資料作成: 越前市都市計画課

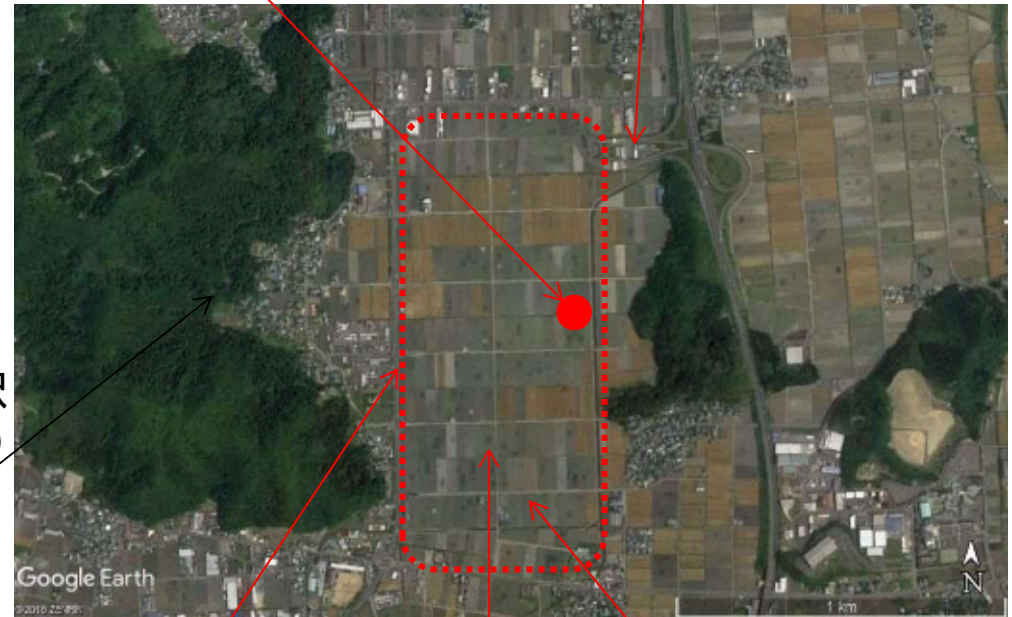
県内新幹線駅周辺状況



南越駅の特徴

新幹線の新駅ができる

北陸自動車道 武生インターチェンジに近接



国道8号に隣接

市街化していない

約100haの広大な土地

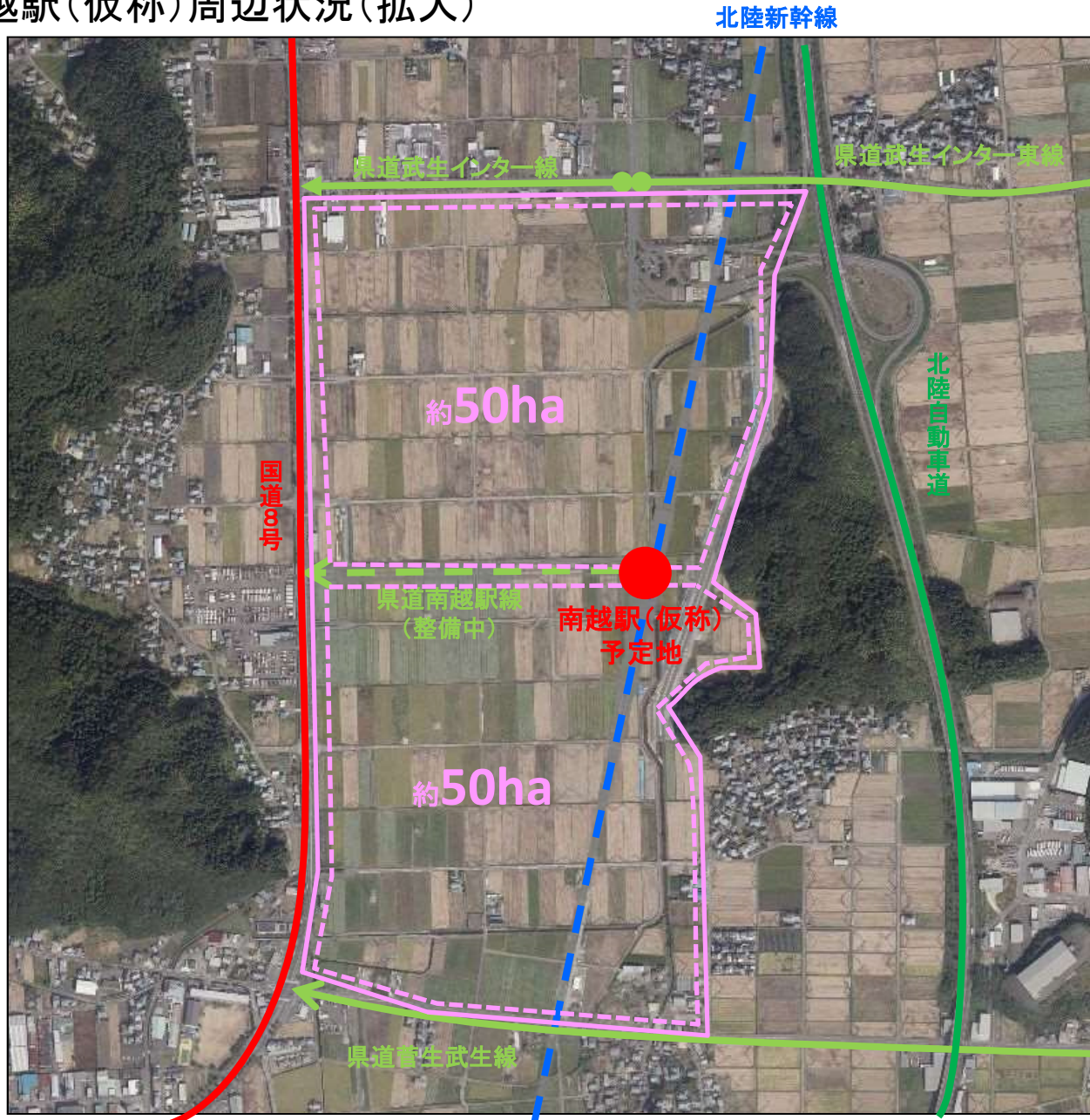
県内唯一の新駅である南越駅(仮称)周辺は、市街化されておらず、これから魅力あるまちづくりを進めることが可能です。

南越駅(仮称)周辺状況



空中写真:越前市
資料作成:越前市都市計画課

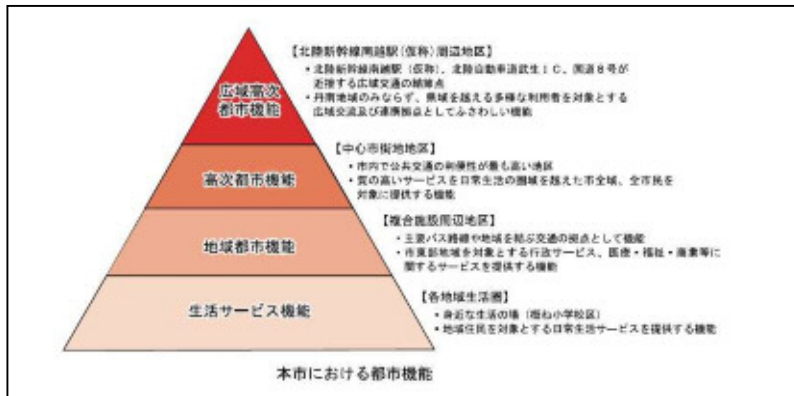
南越駅(仮称)周辺状況(拡大)



参考	
東京ドーム	4.7ha
東京ディズニーランド	51ha
東京ディズニーシー	49ha

空中写真: 越前市
資料作成: 越前市都市計画課

都市計画上の位置付け



越前市都市計画マスタープラン

本市の将来都市構造に大きな影響を与えるプロジェクトとして、高速交通体系の変化、交流人口の拡大に大きな効果をもたらす、平成35年春に開業予定の北陸新幹線南越駅(仮称)周辺整備があります。北陸新幹線南越駅(仮称)周辺は、北陸自動車道武生ICや国道8号が近接する広域交通の結節点であり、丹南地域の広域交通の玄関口として、丹南地域のみならず、**県域を越える多様な利用者を対象とする広域交流及び連携拠点としてふさわしい広域高次都市機能の誘導**を図ることが期待される地区です。



新広域交流創出ゾーン



広域高次都市機能誘導地区



平成35年春に開業予定の北陸新幹線南越駅(仮称)周辺は、北陸自動車道武生ICや国道8号が近接する広域交通の結節点という地理的特性を有しており、丹南地域における交通の拠点として、更に県域を越えた活発な交流の起点としての活用を図ります。

L型のアクセス道路により囲まれるエリアは、丹南地域のみならず、県域を越える多様な利用者を対象とする広域交流及び連携拠点としてふさわしい広域高次都市機能の誘導を優先的に図ります。

参考

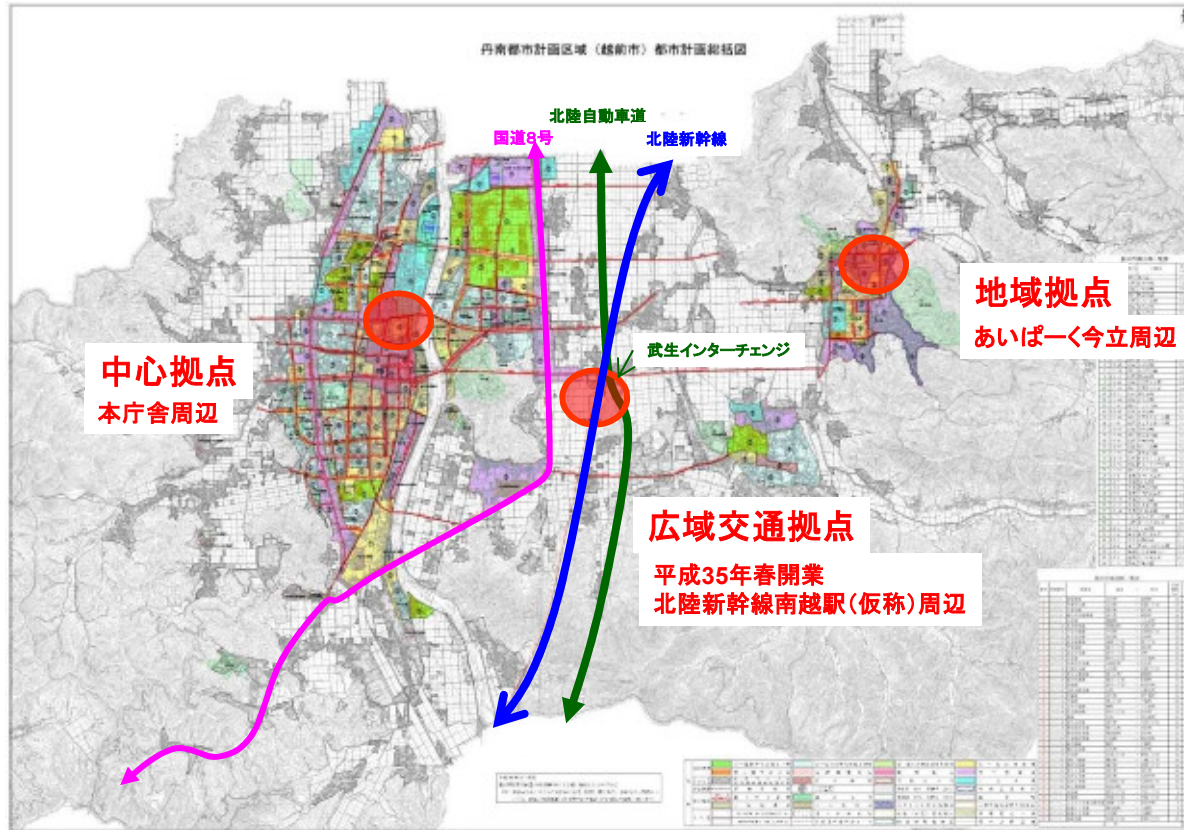
「都市計画マスタープラン」
 都市計画法第18条の2に規定される市町村の都市計画に関する基本的な方針

「都市計画区域マスタープラン」
 都市計画法第6条の2に規定される都市計画区域(都道府県が定める)の整備、開発及び保全の方針

福井県都市計画区域マスタープラン

北陸新幹線南越(仮称)駅周辺については、新幹線開業によるインパクトを活かしたまちづくりを効率的に推進するための地域として、当面は宅地開発等を抑制し、駅周辺整備の具体化に併せて、**丹南地域の新たな玄関口**として、広域的な交流や地域間の連携を促進する機能の集積を図る用途地域の指定を検討する。

都市計画上の考え方(拠点)



越前市都市計画マスタープラン

中心拠点

本市の顔となる場所として、日常生活の圏域を越えた市全域、全市民を対象とする質の高いサービス機能の提供、越前国府の重厚な歴史・文化を活かしたまち並みづくり等により、にぎわいや魅力づくりを推進します。

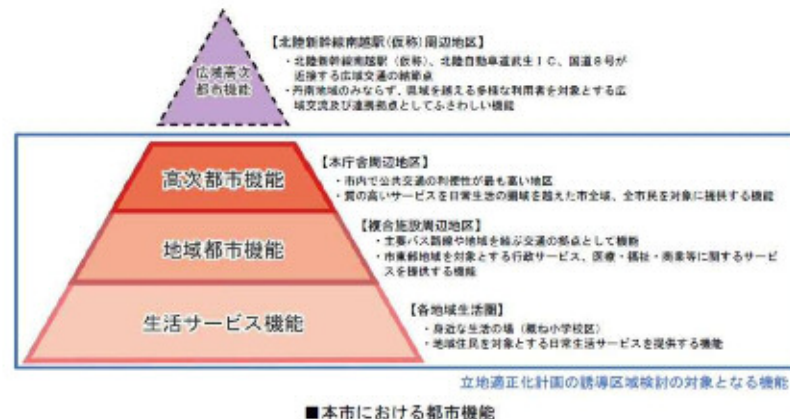
地域拠点

複合施設周辺は、市東部地域を対象とする行政サービス、医療・福祉・商業等に関するサービスを提供するとともに、地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくりを推進します。

広域交通拠点

北陸新幹線南越駅(仮称)周辺は、高速・広域交通網が近接し、幅広い交通手段の利用者が訪問しやすい立地特性を活かして、**県域を越える多様な利用者を対象とする広域交流及び連携拠点としてふさわしい活用を検討します。**

参考
「立地適正化計画」
都市再生特別措置法第81条に規定される都市機能増進施設の立地の適正化を図るための計画。同法第82条の規定により都市計画マスタープランの一部とみなされる。



越前市立地適正化計画

なお、「広域高次都市機能」の提供の場となる北陸新幹線南越駅(仮称)周辺地区は、その活力を誘引し、まちの活性化を図るとともに、都市機能の維持、まちなか居住の促進につなげるため、「広域交通拠点(広域交流起点)」として位置付けを行います。が、**住居系の土地利用の想定をしていないことから、立地適正化計画の居住誘導区域や都市機能誘導区域の検討を行う対象区域には含まれません。**

特定用途制限地域について

特定用途制限地域の設定

平成30年10月1日～**平成32年度(2021年3月)末まで**設定
自宅及び農業に供する建築物以外の建築を制限

設定までの経緯

- 平成30年 3・4月 地元説明会
5月 都市計画審議会
特定用途制限地域指定の承認
6月 市議会6月定例会
建築規制条例の可決
10月 施行

設定エリア

都市計画マスタープランで「広域高次都市機能誘導地区」と位置付けているエリアを基本とした約48ha

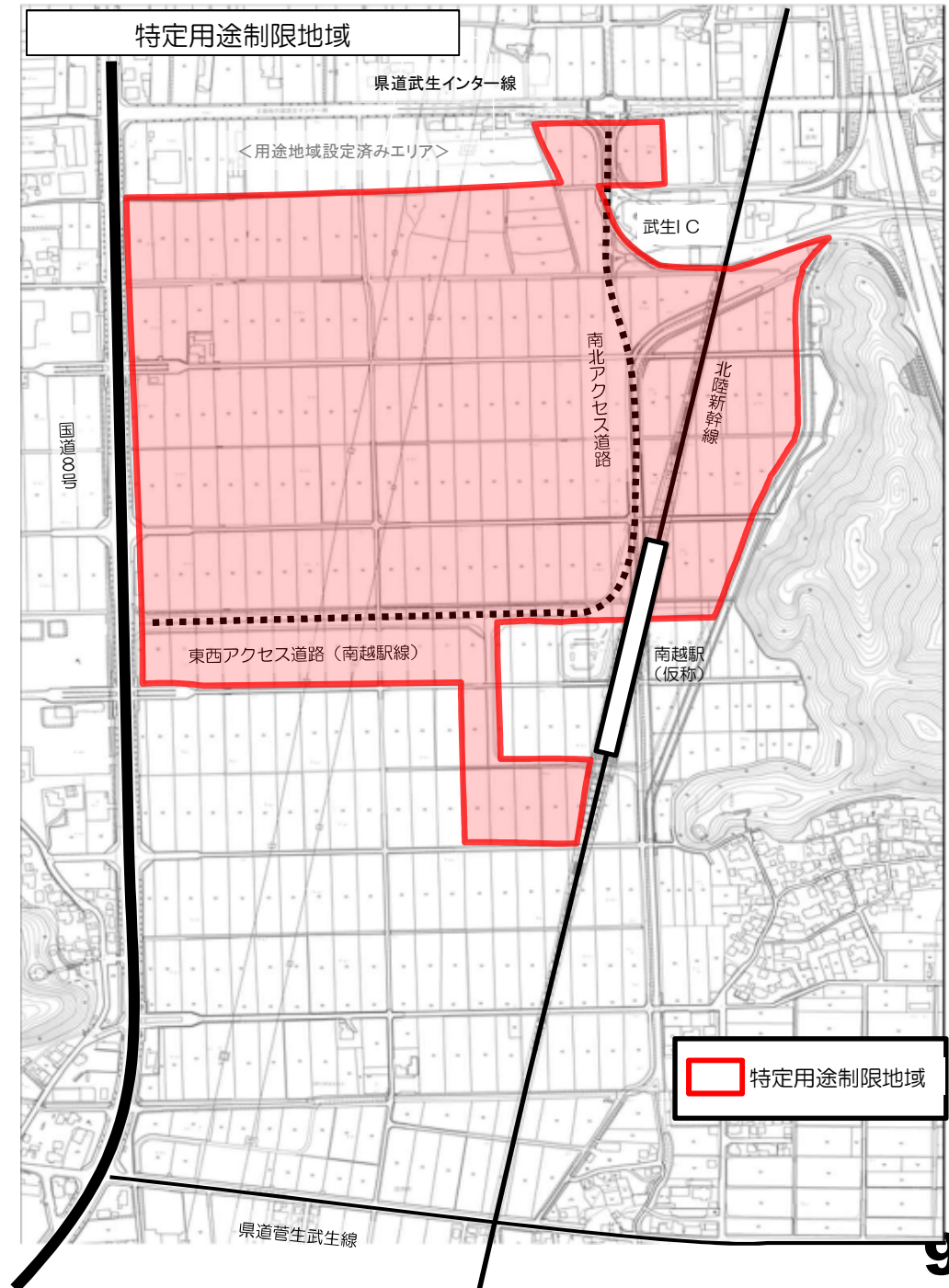
設定理由

地域の皆さまの意見を踏まえた「南越駅周辺まちづくり計画」ができるまでの間、現在の土地利用状況を維持するため

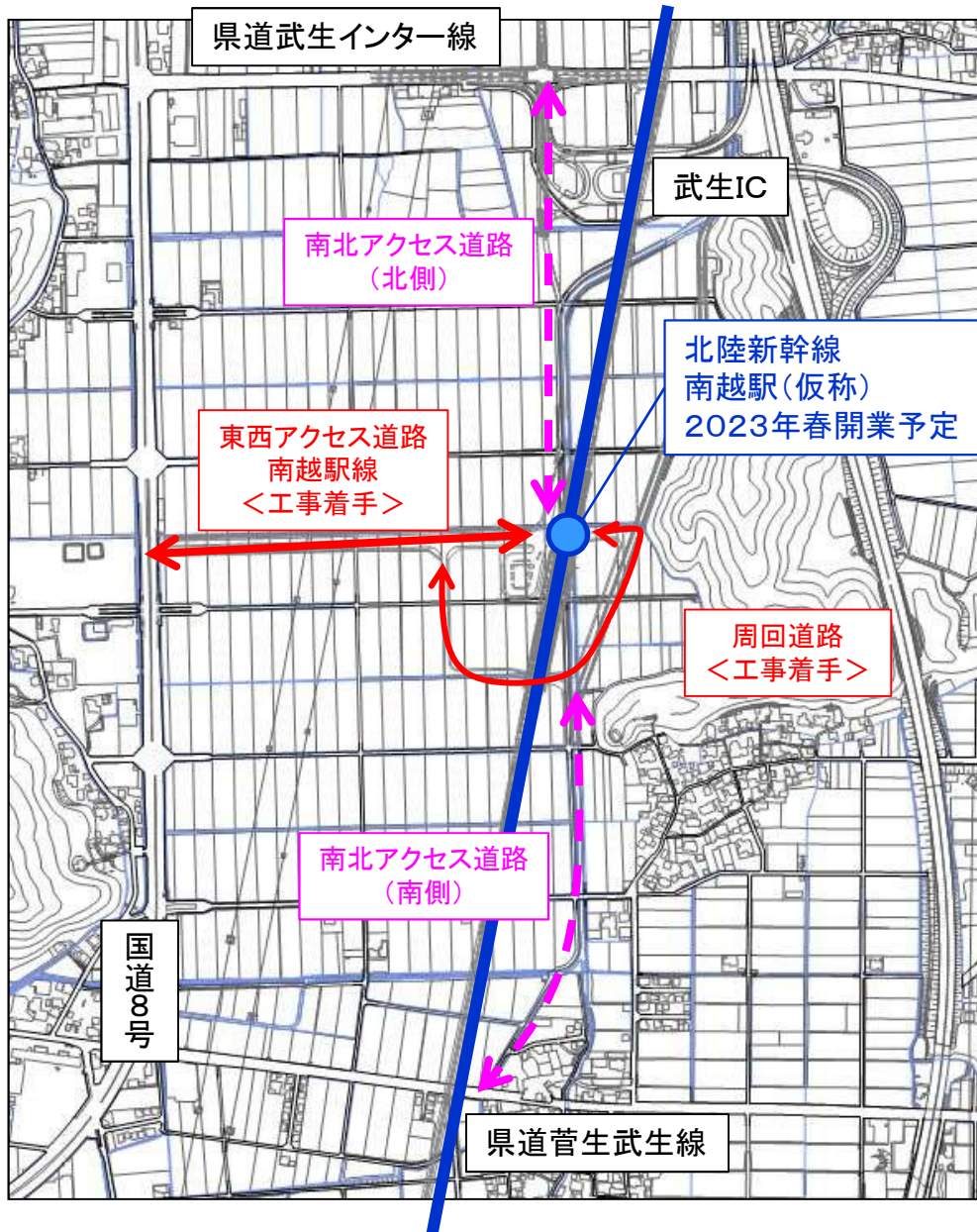
備考

当該エリアは農業振興地域内の農用地区域であり、農地からの転用が規制されています。しかしながら、アクセス道路の整備により農業振興制度のみでの開発規制が困難になることから、都市計画の手法によっても開発を抑制したものです。

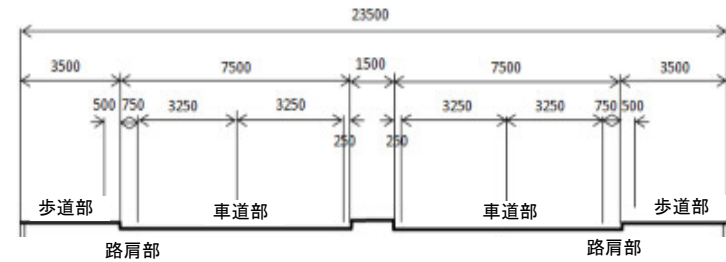
資料作成：越前市都市計画課



南越駅(仮称)周辺整備について

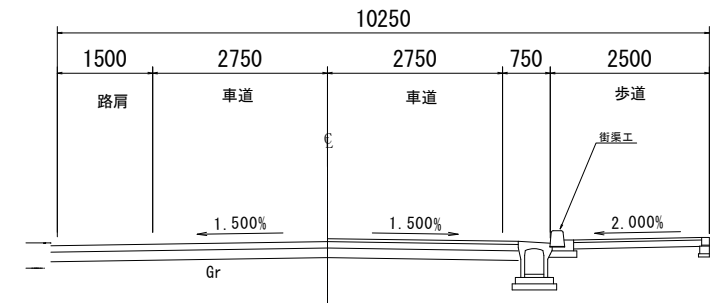


東西アクセス道路 標準断面図



車道片側2車線、両側に歩道

周回道路 標準断面図



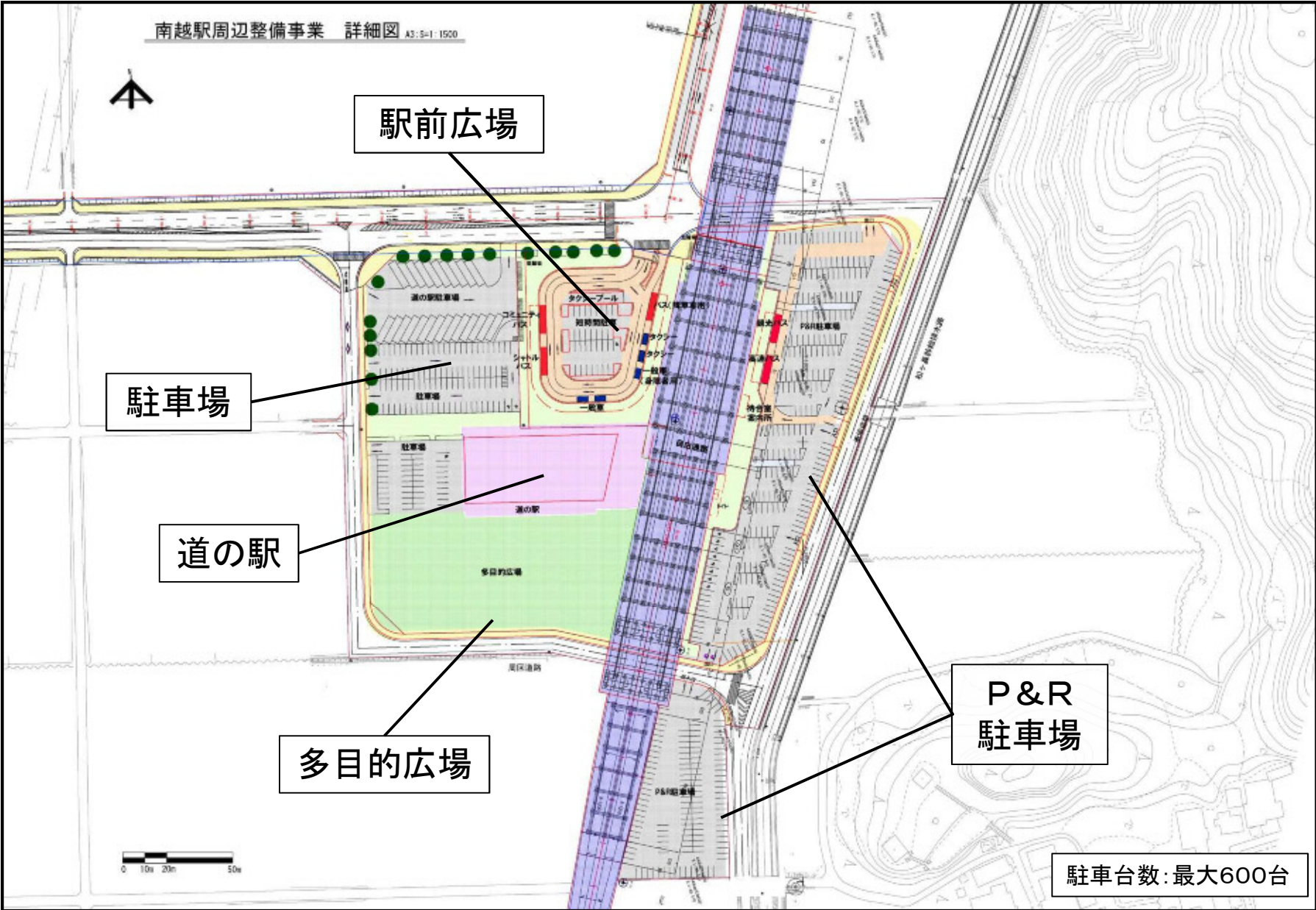
車道片側1車線、内側(道の駅、駐車場側)に歩道

上・下水道を道路工事に合わせて整備予定

資料作成: 越前市都市計画課
 情報提供: 福井県道路建設課、越前市都市整備課・水道課・下水道課

<図面情報: 平成30年12月時点(一部変更の可能性有り)>

北陸新幹線南越駅(仮称)周辺 平面図



「道の駅」について

道の駅として施設が備える機能は、

- ①地域の価値や魅力を向上させるゲートウェイ
観光施設や伝統工芸産地へ誘導
- ②伝統産業製品を購入できる物販施設
- ③地域の特産物や加工品を購入できる物販施設
- ④地域の食材や加工品を味わえる飲食施設
- ⑤地域のイベント等を開催できる多目的広場

二次交通の検討状況

- 南越駅(仮称)の駅勢圏となる「南越駅設置促進期成同盟会」の構成自治体である、越前市・鯖江市・南越前町・越前町・池田町で北陸新幹線の単独駅設置市を視察し、先進事例の研究を行っている。

上越妙高駅(上越市)

黒部宇奈月温泉駅(黒部市)

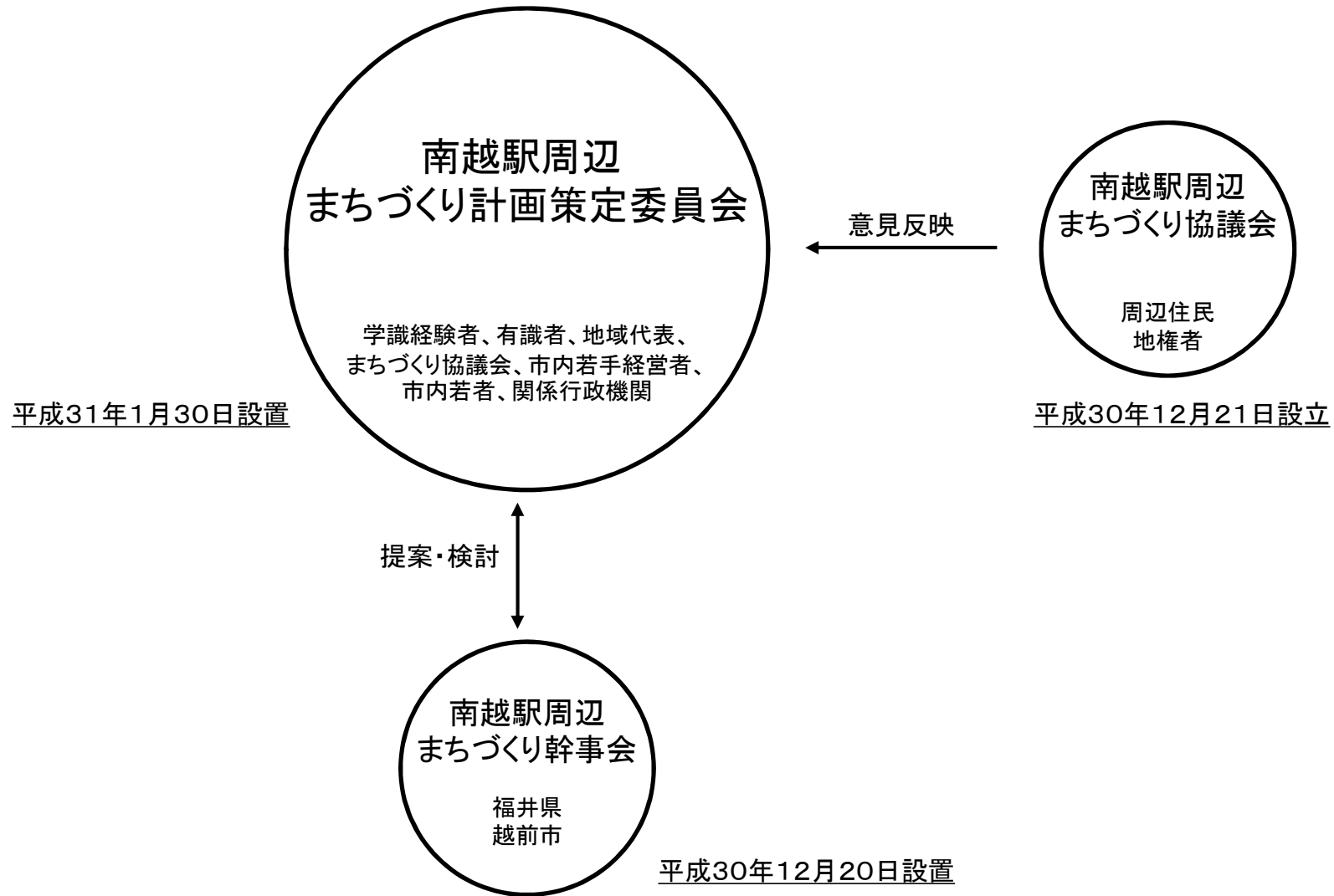
新高岡駅(高岡市)

- 路線バス・市民バス等の運行経路を、運行事業者と協議しながら、平成35年3月南越駅(仮称)開業時の二次交通の確保に向け、引き続き検討を行っていく。

(市民バスのルート・ダイヤ見直しは概ね3年毎:次回平成32年4月を予定)

- 周辺市町からの二次交通については、先行事例を参考に、周辺市町と協議を継続して行っていく。

南越駅周辺まちづくり計画策定委員会
南越駅周辺まちづくり協議会



南越駅周辺まちづくり協議会 設立までの経過

経過

平成30年

3月
4月

特定用途制限地域の説明会
まちづくり協議会の設立についても依頼

3月13日	庄田町、葛岡町、岩内町
3月14日	庄町
3月16日	大屋町
4月25日	大屋町

6月
7月

各ご町内へ代表委員選出のお願い

8月

北日野自治振興会へ代表委員選出のお願い

8月31日

第1回南越駅周辺まちづくり協議会設立準備委員会

10月
11月

各町意見交換会

10月26日	庄町
10月28日	庄田町
11月 2日	岩内町
11月 3日	大屋町
11月 5日	葛岡町

11月30日

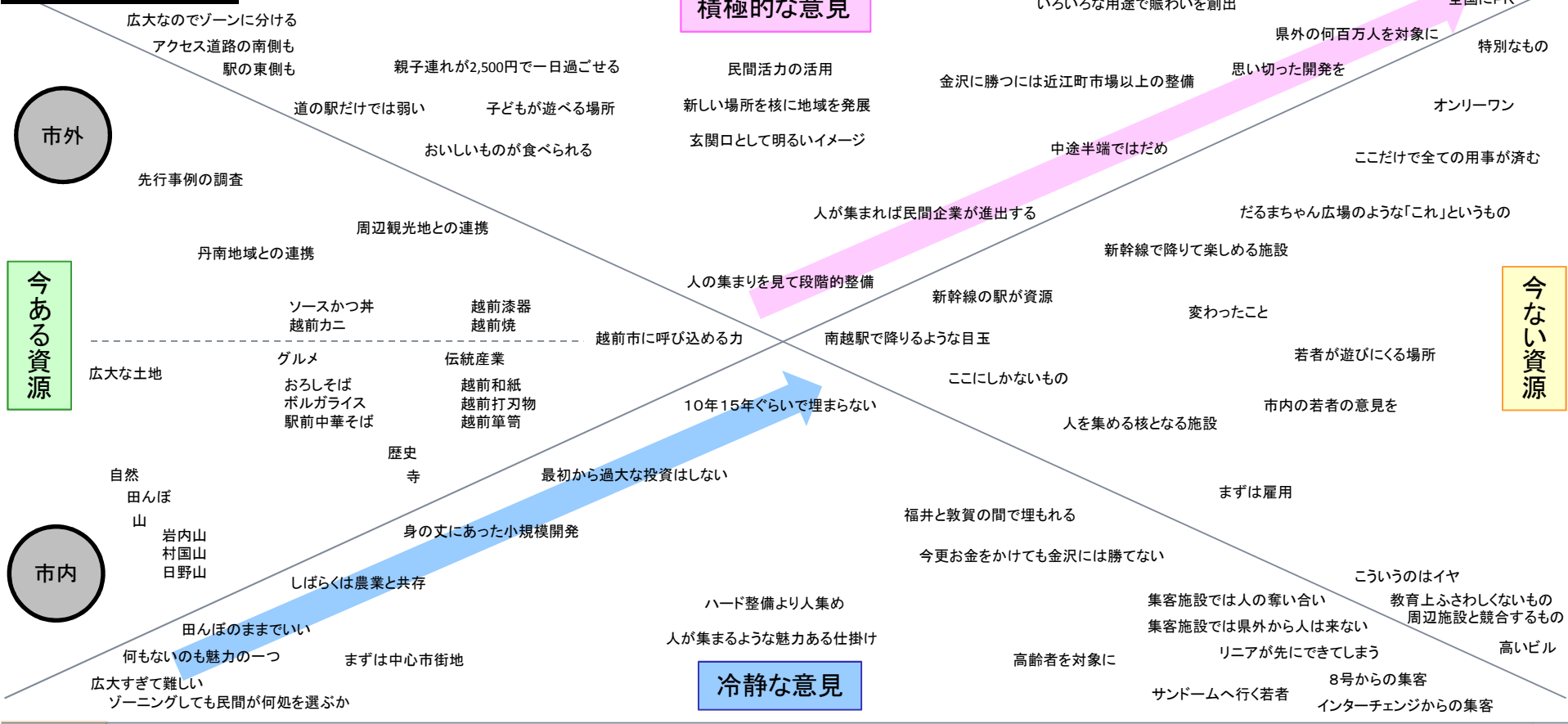
第2回南越駅周辺まちづくり協議会設立準備委員会

12月

12月21日

南越駅周辺まちづくり協議会設立総会

南越駅(仮称)周辺各町意見概要



イメージする施設	＜開発方針＞	
	現状維持	段階的
可能性としての意見	レンタカー ガソリンスタンド 道の駅 (福井県中の特産品を) (越前町から魚を) 芝生広場 地場物産展 岩内山展望台 (とりあえず登れるように) 日野山展望台	食事処 (三大グルメ) (ソースかつ井) コンビニ ホテル 観光施設 (伝統産業) (ものづくり体験) 農村体験型宿泊施設 宿泊型6次産業施設 村国山展望台
	図書館 中央官庁出先機関 公演ができるホール 介護施設 岩内山公園 (新幹線が見える丘) ミニ動物園	企業誘致 物流工場 サッカー場 第二恐竜博物館 第二サンドーム 公的医療機関 IR スマートシティ
地元の想い	今の生活に不便を感じない	固定資産税上がると困る
交通網	アクセス道路(8号・駅) アクセス道路(インター・駅)	二次交通(バス連絡網)

北陸新幹線南越駅（仮称）

開業予定：2023年春

周辺基盤

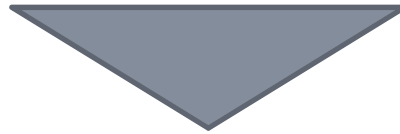
周辺道路・上下水道・駅前広場・パークアンドライド駐車場・道の駅

南越駅(仮称)開業に向け整備予定

特定用途制限地域

現在の土地利用状況を維持

設定期限：2021年3月



これらの現状と市民意見を踏まえて

南越駅周辺まちづくり計画

策定目標：2020年3月